



「環境破壊から地球を守るため、今すぐ木を植えよう」... 環境分野でのノーベル平和賞を受賞したケニアの副環境相、ワンガリ・マータイさん(64)が先月、京都府定通院記念館に出席するため、毎日新聞社の招きで来日した際、「ふるさとの木によるふるさとづくり」を進める財団法人国際生態学センター研究部長の高脇昭さん(71)と、植樹による緑の再生を世界に呼びかけた。約30年間で、3000万本の木を植えてきたマータイさんと高脇さん。森づくりを通じ地球の環境保護にかける二人には、人類生存の基盤である地球への思いと、人間への限りない愛がふれられていた。

「アフリカでの森林破壊についてどんな認識をお持ちですか。マータイさん、森林破壊は、地球規模で進行しています。アフリカも例外ではありません。今も急速に森林が失われつつあります。アフリカでは多くの人が、切った木を薪として使っています。この人たちは、とても貧しく、食糧を安定的に確保するために土壌を開墾し、燃料として薪を使っているため、木を切らざるを得ないのです。また、牧畜活動が盛んに行われていることもあって、このように木が伐採されることによって、土壌が流出する事態が続いています。このまま森林破壊が進めば、地球温暖化にも深刻な影響を及ぼしますのだから心配しています。」

木を植えよう、今すぐ

やらなければならぬ」とは、すべての地域で木を植えることではないでしょうか。地球に住む人の人たちが1人10本の木を植えるなら、どうなるでしょうか。荒れ地や砂漠化した運動をさらに加速させていくと、地球規模の温暖化にも十分対応できなくなると思います。



横浜国大名養教授 宮脇 昭さん

主役は全地球市民

「自然植生理論」に基づき、土地本来の草木を中心にできるだけ多くの樹木を植えるなら、どうなるでしょうか。荒れ地や砂漠化した運動をさらに加速させていくと、地球規模の温暖化にも十分対応できなくなると思います。



「これからもずっとお付き合いを」と語るマータイさん(左)と宮脇昭さん(右)毎日新聞東京本社で

自然災害 森が守る 再植林事業 協力を

「自然災害 森が守る 再植林事業 協力を」... 高脇さんは、スマトラ沖大地震直後、災害から命を守るために「被災地に木を植えよう」という運動のリーダーとして活躍されています。

「高脇さん、森をすべて無くしてしまえば、人間が生きていくことができません。木を切らざるを得ないのです。また、牧畜活動が盛んに行われていることもあって、このように木が伐採されることによって、土壌が流出する事態が続いています。」



ケニア副環境相 ワンガリ・マータイさん

1940年、ケニア生まれ。生物学者を志し、米國に留学後、71年にナイロビ大(ケニア)で博士号を取得。77年に「グリーンベルト運動」を創設した。農村女性に植樹を通じた社会参加を呼びかけ、これまでにアフリカで20カ国以上、約8万人が参加している。植樹活動を女性の地位向上や民主化につなげようとする姿勢はモイ前政権の弾圧の対象となり、水力発電所工事での森林伐採に反対して逮捕された。モイ政権が倒れた02年の国会議員選挙に当選し、副環境相に就任。環境保護と民主化への功績が評価され昨年12月、環境分野では初めてノーベル平和賞を受賞した。

地域のもっと大切な

「地域のもっと大切な」とは、土地本来の草木を中心にできるだけ多くの樹木を植えるなら、どうなるでしょうか。荒れ地や砂漠化した運動をさらに加速させていくと、地球規模の温暖化にも十分対応できなくなると思います。

対談、終始和やか

対談は、昼食をほさんで1時間半に及んだ。植樹、植えた本数など共通点も多く、この日が対談とは思えないほど対談は終始、和やかに進んだ。特に宮脇さんが「大事なこと、土壌本来の草木を取り除かないこと」を強調する点に、マータイさんも大きくうなずき、お互いに手をとり合う場面が何度もあった。

「もったいない」世界語に... 今回の対談で、観音義通・毎日新聞東京本社編集局長から、ごみの減量や再使用、再活用にあたっては、日本では「もったいない」という言葉がある。来日

された。買物の持続的活用を求める表現としては、まさに我が意を得たりの言葉。気に入ったマータイさんは、那在中、各地を訪れるたびにこの言葉を繰り返し引用し、自ら世界に発信することを約束した。小泉純一郎首相と会った際も、「もったいない」談話の花が咲き、若者との交流会でも「もったいない」を実践する方法を考えてほしい」と呼びかけた。シンポジウムでは、さらに一歩踏み込んで「もったいない運動」のネットワーク構築を訴えた。今年4日、ニューヨークで開催された国連婦人の地位向上委員会では、リデュース(ごみの減量)、リユース(再使用)、リサイクル(再利用)の3Rにリペア(修繕)を加えた4Rによる「もったいない」運動を提唱した。